

高同窓会だより

第47号

卒業生総数 30,898人

本巣中学校	2,571人
本巣高等女学校	2,592人
併設中学校	682人
本巣高等学校	21,299人
本巣松陽高等学校	3,754人

(平成31年3月1日現在)

編集・発行/岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会事務局

〒501-0407 岐阜県本巣市仏生寺859-1 TEL (058) 324-1201 FAX (058) 323-0651

ホームページ <http://www.motosu-dousoukai.org/>

「創立百周年記念事業」準備進む

同窓会長 川瀬善忠 (昭40年卒)



2020年の創立百周年までいよいよ残り1年半となりました。平成28年6月に「創立百周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、この3月には第13回目の実行委員会を開催し、着々とその準備を進めています。各委員会

の現況を報告いたします。

□総務 遠山信義 (昭40年卒) 委員長

全同窓生に向け、記念事業の概要を記した協賛金依頼の「趣意書」の作成をし、三度にわたって発送しました。「銀杏祭」での同窓会企画・運営にも携わっています。今後、式典等に向けた招待者の選定、感謝状作成等多様な事務処理を担います。

□広報 河野秀明 (昭53年卒) 委員長

創立百周年に関わる事業の広報・宣伝を展開しています。生徒参画の未来への夢を描く横断

母校の現在 (いま)

名誉会長 小椋博文



同窓会の皆様には、平素から母校の教育の振興のため、格別の御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度につきましても、百周年を盛り上げるべく、

部活動で使用するマイクロボスのマグネットシートを作成していただいたり、「銀杏祭」では、本校の歴史を辿る展示で盛り上げていただいたりするなど、様々な形で御支援を賜りました。さて、新たな百年の歴史を刻むべく、今年度は3つの重点目標を掲げ、取り組みました。

1つ目は「進学実績の向上」です。本校は今年度から3年間、県教育委員会から「進学指導重点校」の指定を受けました。これにより、河合塾と連携し、本校独自の様々な講座を開講することができるようになりました。本指定を契機に、進学実績の飛躍的向上を図りたいと考え

幕、懸垂幕作成、部活動遠征バスへの啓発マグネットシート作成の他、生徒への一行詩の募集をして校内でもその機運を盛り上げています。新聞等の媒体を活用した広報活動も企画中。

□事業 小川裕幸 (昭46年卒) 委員長

創立百周年記念の中心の事業である「正門周辺整備事業」の企画と運営にあたっています。新たな伝統と創造を目指し、学び舎に相応しい質の高い教育環境を整備することを願っています。今後は協賛金の動向に応じた実施設計を経て、整備工事を施工します。

□式典 藤木節子 (昭49年卒) 委員長

2020年10月17日に記念式典(母校体育館)と祝賀会(岐阜グランドホテル)を予定しています。祝賀会は400人の参加を目指しています。「生徒・教職員・PTA・同窓会」が一体となり歴史を飾る式典・祝賀会になることを願っています。特に生徒のアイデア、企画力を生かす工夫をし、2つの会の内容の検討を加速しています。

ています。

2つ目は「地域に貢献する人材の育成」です。今年度当初に「本巣市との連携協定」を締結しました。地域の課題解決策を考えるなど探究的な活動を通じて、将来地域を支える人材を育成することにより、地域になくてはならない学校としての存在意義を高めたいと考えています。具体的な取組としては、数学のまちづくりを目指し本巣市が実施している「数楽校」に100名を超える多くの生徒が参加し、小学生に算数を教えました。また、将来教員になりたい生徒たちは、6つの幼児園での就労体験にも参加しました。

3つ目は「本校の魅力の積極的な発信」です。魅力的な学校案内の作成、さらに同窓会の御協力をいただき、ホームページのリニューアルを行いました。新しいホームページをご覧いただけましたら幸いです。

この3つの重点目標を柱に、百周年が新たな伝統の創造の始まりとなるよう、今後も努めていきたいと考えております。同窓会の皆様には、母校に対する引き続きの御支援をお願いいたします。

□財務 汲田雅司 (平6年卒) 委員長
金融機関や税務署との調整をしながら協賛金の依頼書、振込用紙等の作成と3回に亘る送付業務、協賛金の収納、実行委員会の財務管理等、募金に関わる総合的な業務を執行中。いかにして、目標額を達成するか財務委員の知恵と総意を結集して大奮闘中。

□名簿発行 天野知子 (昭52年卒) 委員長

創立百周年記念事業の第1号として、約3万人に上る会員の動向を確認し、平成29年2月12年ぶりとなる「会員名簿」の発行をし、希望者のみへの注文販売をしています。

(1冊 4千円、注文は旭出版)

□記念誌 西尾侑一 (平16年卒) 委員長

20年前の「80周年記念誌」以来の製作となります。百周年記念式典の様子や記念事業の内容も刻み、1世紀に亘る母校の沿革や記録、写真等を含めたものになるよう構想を練っています。本巣高等学校、本巣中学校等古き写真や貴重な記録等アルバムに無いものがございましたら情報提供ください。

このように委員長を中心として、確実に準備が推進されています。毎回の実行委員会には40人を超える委員が参集くださり、企画、運営に携わっていただき感謝に堪えません。事業が成就するよう、どうか同窓生の皆さんのより一層の協力をお願いいたします。

銀杏祭で百周年企画展開催

副会長 遠山信義 (昭40年卒)

9月6日、7日の2日間、本巣松陽高校の文化祭が開催され、同窓会も昨年に引き続き、百周年記念事業に関する展示ブースを設けました。ブースには、百周年記念事業の概要(基本理念、基本コンセプト、校門付近の俯瞰図)を始め、制服の変遷、歴代の校旗、各年次の卒業アルバム、懐かしい過去の母校の写真パネル、活躍されている同窓生(25名)等を展示いたしました。また、ゲームコーナーには「イライラ棒」板を設置し、楽しんで頂きました。

2日間で約350名の生徒や保護者及び同窓生の方が来場され、興味深く展示物を観覧されましたが、特に卒業アルバムの展示コーナーでは、懐かしそうに見入る同窓生の他、父母・祖父母及び先生方の学生時代の顔を確認し談笑する姿も見受けられました。

なお、活躍されている同窓生コーナーの充実のため、現在各方面で活躍中の皆さんを紹介していただきますようお願いいたします。

● 本 部 ●

本部総会・懇親会の報告

当番学年代表 小島(箕浦)亜由美 昭63年卒



平成30年度本部総会・懇親会が8月11日(土)ホテルグランヴェール岐山にて開催されました。卒業後30年目に当たる昭和63年卒が中心となり、卒業後20年目の平成10年卒、卒業後10年目の平成20年卒にも呼びかけ、本部役員、恩師の方々合わせて、およそ220名の方に御参加いただき、盛大に行うことができました。

川瀬善忠会長より「本巣松陽高等学校は、東京オリンピックの開催年に創立百周年を迎える。これを機に同窓生の絆を深く刻み、正門周辺整備事業を中心にした各種記念事業を計画している中で、協力をお願いしたい。」と挨拶がありました。また、現在の母校校長である小椋博文名誉会長より本巣松陽高校の現況について説明があり、平成29年度の事業報告・決算報告、平成30年度の事業計画・予算について、創立百周年記念事業について報告がありました。

総会終了後、続いて懇親会が開かれました。昭和63年卒が担当となり、国枝英明さんの司会進行のもと、お忙しい中ご参加いただいた5人の恩師(大石秀次先生、羽賀均先生、高橋幸仁先生、伊藤(河合)千恵子先生、宮崎護先生)をご紹介させていただきました。小椋博文名誉会長の乾杯のご発声の後、食事をしながらの歓談へと移りました。学校紹介DVD、創立百周年PRのDVDを会場スクリーンに映し出し、鑑賞していただき、改めて母校の歴史等を感じていただきました。さらに昭和63年卒の同級生有志による懐かしい写真と現在の姿をリンクさせたサプライズDVDを上映すると会場は、一気に盛り上がり、このDVDを作成するために多くの同級生に一役買ったばかり、ご協力いただけ



▲名誉会長の音頭で乾杯

たことに本当に感謝しています。改めてお礼申し上げます。その後、みんなで校歌を歌い、羽賀勝美さんより来年度の当番イベントを渡し、羽賀均教頭先生の万歳三唱で懇親会を閉じました。

その後、同会場で昭和63年卒の学年懇親会へと続いていきました。棚橋菜穂子さんの司会進行のもと、林健司さんの乾杯で仕切り直し、ご参加いただいた先生方から一言ずつ挨拶をいただきました。声をお聞きすると当時の教室の風景が一瞬に戻っていき、感覚になりました。また、国枝さん扮するクニコデラックスの「クニコ」の部屋なる出し物では、羽賀均教頭先生にも協力いただきました。さらに盛り上がりを見せました。田中靖久さん作成の現在の校舎の風景DVDを観ながら、懐かしくその当時の思い出にふけり、級友たちと楽しい時間を過ごすことができました。みんながつける名札には、ひと手間かけ、アルバム写真を張り付けました。受付で渡したとき「見せたくない。封印してきたのに」といった、話のネタになり、雰囲気の変わった人、変わらない人、多くの人が名札を見せながら各テーブルを歩き、交流を深める良い手立てとなりました。最後に私からのお礼の言葉で会を閉じました。終わってから名残惜しむ多くの人があちこちでかたり、写真撮影をしたり、連絡先を交換したり、次の約束をしたりする姿がみられました。たくさんの方から「楽しかった。ありがとう。」という言葉をいただき、想像をはるかに超える盛り上がり、世話役一同、肩の荷を下ろすことができました。

学年代表をするような器でない私がせざるを得ない状況になり、覚悟を決めて活動し、ここにたどり着くまで本当に長い1年半を過ごしました。アルバムとにらめっこして、まずは、1人でも多くの同窓生に同窓会の案内を届けることから始まり、返信の少なさに心が折れたこともありましたが、それでも何十回と同窓会館に集まり、この日のためにアイデアを出し合い、時間を惜しまず、協力してくれた11人の仲間がいたからこそ、乗り越えることができました。人が集まればそれだけの得意分野で協力し、助け合うことができることを実感しました。当時、話す機会がなかった方とも今回の同窓会で改めて出会うことができ、人とのつながりに本当に感謝申し上げます。

事務局より

同窓会では、例年、8月の第2週の土曜日に本部総会・懇親会を行っています。卒業後30年目、20年目、10年目に当たる理事の方々(原則)が幹事となり、該当学年の同窓生に5月中旬頃に案内が、該当学年の参加者のもと、盛大に実施されています。該当年に当たられた際には、積極的に参加していただければ幸いです。もちろん、同窓生であれば、毎年参加していただくことも可能です。異なる卒業生の同窓生が一堂に会することも、本会の特徴といえます。相互交流を深めていただくことで、様々な分野で活躍してみえる同窓生の皆さまにとって有意義な時間となるよう、会の内容についても充実させていきたいと考えています。例年、30年目の同窓生が主担当学年として、恩師招聘、余興などを取り仕切ってくださいますが、今後は、20年目、10年目の同窓生の方々からも案をいただき、実現していけるよう検討していきたいと考えています。特に、恩師招聘につきましては、それぞれの卒業年の同窓生にゆかりのある恩師に参加していただけるよう、事務局としても協力していきます。

なお、平成31年度につきましては、8月10日(土)にグランヴェール岐山にて開催されます。担当学年は、平成元年、11年、21年卒の皆様です。多くの同窓生の参加をお待ちしております。

平成31年度本部総会・懇親会

日時 平成31年8月10日(土) 午前 11:00
場所 ホテルグランヴェール岐山
※当番学年は卒業30・20・10年目(平成元年卒、11年卒、21年卒)の皆様です。

● 関東支部 ●

平成30年度総会・懇親会の開催について

支部長 吉田 彰 (昭41年卒)



平成30年度関東支部総会・懇親会を平成30年4月15日(日)にアルカディア市ヶ谷にて、本部から小

椋博文名誉会長、川瀬善忠会長、柏木典子事務局長、西尾侑一常任理事の出席を賜り、関東支部会員50名の参加で開催致しました。総会は神谷由利子氏(昭44年卒)の司会進行で始まり、関東支部長の挨拶、来賓の方々の祝辞に続き、平成29年度の事業報告、会計報告及び役員改選報告を行いました。



▲懇親会の様子

その後、中村隆春氏(昭41年卒)による「健康寿命と水のかかわり」について、ご講演を頂きました。中村氏は、岐阜県で奥長川名水「高賀の森」の製造・販売を行っている会社の社長であり、大学と共同で水素水などの研究も行っておられ、人間の健康に對し、水が大きく関わっていることを、分かり易くご説明して頂き、会員一同非常に参考になりました。

懇親会は国枝洋一氏(昭23年卒)の乾杯により開催し、例年通り卒業年度別に設定した各テーブルでの懇親では有りました。が、例年通り時間が経つと共にテーブルの枠を超えた交流となり、近況報告やら若かりし頃の思い出話等に花を咲かせておりました。

今回初参加として、谷成文氏(昭43年卒)が参加され、挨拶・自己紹介等を頂きました。その後恒例の卒年別のグループ毎の記念写真撮影を行い、当日のスナップ写真を合わせて後日参加者全員に送付しました。又、恒例の全員でのビンゴゲームでは会場も大いに盛り上がり、最後は昭和41年卒者をリーダーにして全員で校歌を斉唱し、散会となりました。

幹事会メンバーは会合の度に、どの様にしたらより多くの卒業生に参加いただけるか、特に若い方の参加を増やすか、またより楽しい会にしたいけるかなどを話し合っております。

是非、一度ご参加いただき、雰囲気を感じて頂き、同窓生に呼びかけをお願いしたいと思っております。

平成31年度関東支部総会・懇親会

日時	平成31年4月14日(日) 午前 11:30
場所	主婦会館 プラザエフ ※四谷駅下車徒歩約1分
会費	支部会員 8,000円 学生会員 3,000円 支部会員以外 5,000円

名古屋支部



支部長 大西 隆信(昭41年卒)

梅雨の季節ですが、当日はすこぶる良い晴天に恵まれ、平成30年度名古屋支部総会・懇親会を名古屋駅前ホテルキャッスルプラザで

開催しました。当日は本部から川瀬善忠会長、小椋博文名誉会長、柏木典子事務局長、西尾佑一常任理事の4名が、名古屋支部会員が22名出席しました。

総会後の懇親会では、ホテルの料理を楽しみながら、高校時代の思い出話や近況報告の話に花が咲き、同窓生同士のつながりを強く感じたひと時でした。

1 総会

川瀬会長、小椋名誉会長からのご挨拶に引き続き、支部長の西尾より事業報告に加えて母校の百周年記念事業への寄付金のご協力を訴えました。

2 懇親会

今回は特に母校の現状と百周年の歩みをDVD上映し、小椋名誉会長より解説をいただきました。最後に全員で本巣高等学校校歌を斉唱しました。

例年より寒い冬でしたが、日を追って春の気配が感じられるこの頃です。



懇親会の様子

名古屋支部総会・懇親会

名古屋支部では、3年ごとに総会・懇親会を開催しています。今回は2021年に開催する予定です。

創立百周年記念事業の経過報告

平成28年度：実行委員会発足。平成29年度：事業委員会に加え、総務委員会、財務委員会、広報委員会の活動活発化。平成30年度：総務委員会、広報委員会、式典委員会、財務委員会の活動が更に進展。事業委員会

平成30年3月30日「正門周辺整備事業基本設計業務委託」について「委託業務完了届」受領。8月11日第11回実行委員会：記念事業計画確認。11月25日第12回実行委員会：記念事業の今後の進め方(イメージ)の確認。

総務委員会

平成30年7月12日第2回趣意書発送。寄付金募集が一年間延長されたことから、平成31年2月18日第3回趣意書発送。

広報委員会

平成29年8月、全校生徒から横断幕と懸垂幕のデザインを募集、10月にデザイン募集を締め切り後、全校生徒による投票でデザインを決定。その後、2月28日に掲出セレモニーを実施。生徒と教職員、同窓会の方々と共に第2グラウンドのフェンスと正面玄関横に掲げた。横断幕デザイン当時1年1組入江美月さん、懸垂幕デザイン当時2年6組佐々木里奈さん。

平成30年7月10日、部活動バスにPRマガネットシートを掲出した。能動的に県内外外に広く創立百周年をPRするため、新たな遠征などで使用する部活動バスに貼付するマガネットシートを作成し、披露セレモニーを開催した。同窓会長様、PTA会長様、校長先生、生徒会会長様、ソフトボール部、バレーボール部、硬式野球部の代表部員の皆さんに同席していただいた。

式典委員会

2020年10月17日の記念式典の式次第と役割分担等、祝賀会の進行等について検討に入った。午前中の本校体育館での記念式典を学校側が担当し、午後からの岐阜グランドホテルでの祝賀会を同窓会側が担当することで見解を持ち寄り、式典委員会を開催した。

記念誌委員会

記念式典後の2021年3月発行予定の記念誌について、次年度から編集計画を示していく予定である。

名簿発行委員会

創立百周年記念号となる同窓会の『会員名簿』を多くの同窓生に購入していただきたい。再度、名簿の購入を依頼していきたい。各学年で同窓会を開いた折には、『会員名簿』のご案内をしていただきたい。

財務委員会

平成30年11月25日第11回財務委員会開催。平成30年11月30日で税法上の申請手続き期間が終わるため、その後の対応として、平成31年1月1日〜平成31年12月31日の1年間の寄付金の募集期間延長の申請を行い、国税局より許可が得られた。それを受けて、第3回趣意書の発送対象者について検討し、2月18日に発送することができた。80周年の募金活動の時のような寄付金をさらに依頼していくために、今後、テレビ局、ラジオ局、新聞での広報活動を財務委員会においても企画し、一般視聴者が見ても楽しい番組にすることが大切であると検討された。また、各部活動のOB会の会長に依頼し、寄付金募集の依頼をしていきたい等の意見が検討された。

これまでの経過と今後の予定

- 平成27年 9月28日 第1回準備委員会
- 平成28年 2月5日 第2回準備委員会
- 6月4日 第1回実行委員会
- 8月7日 第2回実行委員会
- 10月23日 同窓会総会・懇親会
- 平成29年 2月26日 同窓会「会員名簿」発行
- 3月26日 第4回実行委員会

- 6月4日 第5回実行委員会
- 8月12日 第6回実行委員会
- 10月17日 同窓会総会・懇親会
- 12月1日 第7回実行委員会
- 平成30年 1月20日 第8回実行委員会
- 3月17日 第9回実行委員会
- 5月19日 第10回実行委員会
- 8月11日 第11回実行委員会
- 11月25日 同窓会総会・懇親会
- 12月1日 第12回実行委員会
- 平成31年 1月1日 第3回募金開始
- 3月24日 第13回実行委員会(予定)

創立百周年寄付金の現況報告

寄付金目標額4,500万円に対し、平成29年12月1日〜平成31年2月28日までに協力いただきました寄付金総額は2,042万円となっております。これを受け、寄付金募集期間を1年間延長しました。皆様のご協力をお待ちしております。延長期間：平成31年1月1日〜12月31日 ※2月に送付させていただきました文書につきまして、不明な点がありましたら、お手数をおかけしますが、事務局までお問い合わせください。

創立百周年記念式典・祝賀会

2020年10月17日(土曜日) 午前・記念式典(母校体育館) 午後・祝賀会(岐阜グランドホテル)

多くの同窓生や在校生、学校職員と共に創立百周年記念事業を成功させ、記念式典と祝賀会で喜びを分かち合います！



頑張ってます 同窓生 vol.5

せつきーファーム 関谷 英樹 (平成10年卒)

本県の名産品、富有柿。その発祥地である瑞穂市で柿農園を営んでいるのが関谷英樹氏である。関谷氏は弾正小学校、真正中学校を経て、平成10年に母校普通科を卒業した。その後は名古屋のデザイン専門学校へ進学。さらにその後は上京し、スタイリストのアシスタントを経て、デザイン系IT企業に勤務した。元々は田舎の岐阜が大嫌いで東京に進出した。東京では岐阜の知名度がとくに低かった。そこで次第に、岐阜の良さ



に気付く。『素晴らしい岐阜をPRしたい』と思うようになった。そんな中、平成23(2011)年3月11日に東日本大震災が発生した。国内が混乱する中で、関谷氏は「やるなら今だ」と決意し、4月にUターンしてきた。「具体的に何をやるか」と考えていたところ、地元の名産品として柿があるが、高齢化などで柿農家が減少していることに気付いた。そこで農業研修事業に参加して県内外で研修した。そんな時、柿農家を辞めようとしていた農家と出会い「ならば僕がやってみよう」と思いついた。現在では、ハロウィン柿などのオリジナル商品を開発したり、保育園から高校までの学校や菓子店とのコラボ活動も行ったりしている。「つながりを持ちたい」と思いついた。東日本大震災の被災地の子どもたちに柿を贈る活動も3回目を過ぎ、「東北では作れない柿に子どもたちは喜んでくれる」という。HPを見て柿農家をやりたいと思ってくる人もおり、担い手の育成を行っている。柿業界を盛り上げていきたいという関谷氏の思いが伝わってきた。

せつきーファーム
〒501-0303
岐阜県瑞穂市森565
TEL 090-2269-3083
E-Mail sekkiyfarm@gmail.com

「高校時代の大きな思い出は思い浮かばないが、つい2週間くらい前に同窓会をした」という。今も本県で培った絆は強く残っている。「自分の方向性が定まってきた、芸術系・デザイン系の仕事に携わりたいと思わせてくれた」ということが、母校が教えてくれたことであった。開業当初は利益がなく、大変な思いをした。始めて3、4年してからHPで直販を開始すると、売上げが伸びるようになり、「PRするって大事。ただ作っているだけではダメ。知ってもらう努力をしなければ」と感じた。趣味でマラソン大会に出場する際には、柿の被り物を身に付け、インパクトを与えながらPRしている。現在では、ハロウィン柿などのオリジナル商品を開発したり、保育園から高校までの学校や菓子店とのコラボ活動も行ったりしている。「つながりを持ちたい」と思いついた。東日本大震災の被災地の子どもたちに柿を贈る活動も3回目を過ぎ、「東北では作れない柿に子どもたちは喜んでくれる」という。HPを見て柿農家をやりたいと思ってくる人もおり、担い手の育成を行っている。柿業界を盛り上げていきたいという関谷氏の思いが伝わってきた。

【平成31年2月16日取材 インタビューアー 西尾侑一(平成16年卒)】

ようこそ!235名の新会員

平成31年3月1日(金)、母校体育館にて平成30年度卒業証書授与式が挙行されました。それに先立ち2月28日、同窓会入会式が行われ、235名の卒業生が新会員として加入しました。川瀬善忠会長と本田修也顧問、宮本記三子監事の3名が出席して行われた入会式において、7名の理事を代表して高井紀帆さんに、会長から委嘱状が授与されました。また、卒業記念品として例年通り、各々の名前の印章が新会員全員に贈呈されました。

新会員の皆様は「平成31年卒」です

平成31年3月卒業 新理事

(◎は学年代表 ○は学年副代表)

- ◎高井 紀帆
◎松尾 匠馬
○奥田 隼生
○廣瀬 龍一
○佐藤 道隆
○石原 菜南子
○松田 龍弥



▲委嘱状を受け取る高井理事代表

寄付金納入者芳名

平成30年4月1日〜平成31年2月28日 (101,000円、敬称略)

ありがとうございます!ございました

Table with 2 columns: Name and Amount. Includes names like 青木 松男 (10), 本田 修也 (2), etc.

皆様のご協力をお願いします

口座名称 岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会

郵便振替 00880・6・154003

ゆうちょ銀行

店名089店 口座番号0154003

百周年記念事業への寄付は専用の用紙を

創立百周年記念事業へのご寄付は、同窓会員の皆様にお送りしております趣意書に同封の払込用紙をご利用ください。

一行詩コンクール入賞者表彰

平成30年2月28日に百周年へ向けての広報活動として募集しておりました、一行詩コンクールの入賞者を表彰しました。最優秀賞は2年の田口雅也さんが受賞されました。田口さんは、「高校生活にかけの思い」をテーマとし、所属する硬式野球部での活動に対して、「最後の夏」に向け、「どんなに苦しくても逃

げずに最後までやりとげる」と強い決意を記してくれました。その他の入賞者は次のとおりです。
優秀賞 脇川くるみ(2年)
入選 谷村 大明(2年)、早川心々弥(1年)、間瀬梨子(1年)、白井愛花(1年)



▲表彰された7名

創立百周年PRマグネット完成
創立百周年を2年後に控え、同窓生のみならず、在校生や保護者、地域の方々にも母校をPRするため、今年度は、マイクローバス側面に掲げるマグネットを作成しました。現在、母校に3台あるマイクローバスの両側面、6枚分を作成しました。
平成30年7月10日、広報委員会がデザインしたマグネットの贈呈式を行いました。晴天の中、会長、名誉会長(母校校長)、理事の立会いのもと、在校生を代表して、生徒会ソフトボール部、バレーボール部、硬式野球部の代表者に寄贈されました。
マイクローバスは、ソフトボール部、バレーボール部、硬式野球部が主に使用しています。これら各部分は、公式戦だけでなく、練習試合等において、県内だけでなく、県外へ赴くことが年間を通して何度もあります。かつて、これらの部に在籍していらした同窓生のみならず、現部員たちも、日々技術の向上に励み、納得できる結果を出すために、厳しい練習に取り組んでいます。
また、生徒を代表し、ソフトボール部主将の馬場穂乃香さんが「一生懸命部活動に取り組むことで、本巣松陽の名を1人でも多くの方に知ってもらいたい」と挨拶してくれました。



▲マグネットデザイン



▲ソフトボール・バレーボール・硬式野球部員とともに